

2023年6月7日  
クラレレーディング株式会社  
(クラレグループ)

～優れた速乾性とドライ感を有し、着用時の快適性を向上～

## シンジオタクチックポリスチレン(SPS)繊維〈エプシロン®〉を開発

クラレレーディング株式会社(本社:大阪市北区、社長:山田武司)は、出光興産株式会社(本社:東京都千代田区、社長:木藤俊一)が独自開発したスチレン系樹脂・ザレック™(シンジオタクチックポリスチレン(SPS))を用いて、優れた速乾性とドライ感を有する繊維〈エプシロン〉を新たに開発しました。〈エプシロン〉は、高い疎水性や耐熱性などのユニークな特長を併せ持つため、ポリプロピレン繊維では困難であったアイロンを用いたケア(シワ取り)やプリント(捺染)によるデザイン性の向上を実現します。

2023年下期の販売開始に向けて、衣料・スポーツ・インテリア分野等への提案を加速します。

### 1. 開発の背景

従来、速乾性を有する繊維としてはポリエステルが主流であり、より高い機能が求められる用途では撥水加工を施すことが一般的でした。しかし、撥水加工には洗濯による機能低下や、加工剤による環境への悪影響といった課題がありました。

クラレレーディングは、出光興産株式会社が世界で初めて合成に成功したSPSと、クラレグループが持つ熔融紡糸製造技術を組み合わせることにより、撥水加工を施すことなく、衣料やスポーツ用品などに求められる優れた速乾性やドライ感による着用時の快適性向上に貢献するユニークな繊維を開発しました。

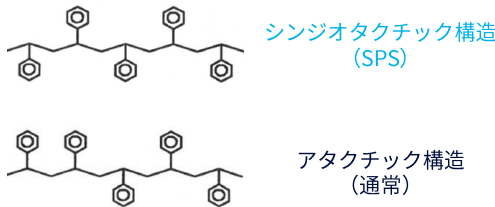
### 2. 製品の特長

#### ・速乾性

SPSの分子構造は、立体規則性を持ち、結晶性が高いため優れた疎水性を有します。この特長から、〈エプシロン〉を使用した生地は、水分の乾燥スピードが速くなります。速乾性能はポリエステル対比で約1.8倍です。(※自社試験)

#### ・デザイン性

SPSの分子構造は、結晶性が高く、耐熱性(融点 270℃)に優れるため、分散染料を使用した高压染色にも対応し、ポリエステルとの交編、交織も可能となります。さらには、プリント(捺染)だけではなく、プリント染色(昇華)やアイロンを用いたケアなど、取り扱いの幅が広がります。



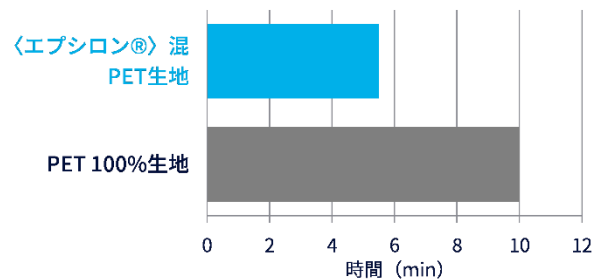
#### ・軽量

SPS繊維の比重は1.04で、ポリエステルの1.38と比較して軽く、56dtexのSPS繊維ではポリエステルの74dtex相当の太さ(嵩高)となります。

### 3. 想定用途

- ・ スポーツウェア、インナーウェア(下着、靴下、水着など)
- ・ インテリア製品(カーペット、寝具、カバー類など)
- ・ 資材用品(傘、防水シートなど)

残留水分率が5%に低下するまでの時間



【速乾性評価試験】



【撥水性比較試験】

報道機関のみなさまからのお問い合わせ先  
製品に関するお客様からのお問い合わせ先

(株)クラレ IR・広報部 小山・鈴木 TEL 03-6701-1073  
クラレレーディング(株)  
クラベラ事業部 中塚 TEL 06-7635-1704

## クラレトレーディング株式会社 会社概要

社名	クラレトレーディング株式会社
本社所在地	大阪府大阪市北区角田町 8-1 大阪梅田ツインタワーズ・ノース 39 階
代表者	代表取締役社長 山田武司
設立	1961 年 10 月
資本金	22 億円(クラレ 100%)
主な事業内容	繊維資材・繊維製品・化学品・化成品等の販売